

## 平成 30 年度 6 年生の感想文より

### 鉄作り

夏休み直前に、私たちは砂鉄をとりました。川はすごく冷たかったけれど、みんなで一生懸命取りました。その結果、たくさん取れました。そして、9月になりたたら製鉄をやりました。炉の中に1kgずつ、10分単位で木炭と砂鉄を入れていきました。その2つを入れた炉の周りは熱くて、中の様子を見るのぞき穴からみると、炉の中は赤くなっていました。鉄が出来上がると、炉の中から大きなかたまりが出てきました。

2つの炉から出た重さを計ると、21kgでした。そのかたまりが出てきたときは、自分たちが一生懸命取った砂鉄が、大きなものになっていたのですごくうれしかったです。

(6年 奥出 絢)



### 20 周年の鉄作り

ぼくは、初めて鉄作りの体験をしました。砂鉄を川から採ったのは、2回目でした。

ぼくたちは、鉄を作る前に砂鉄川から砂鉄を取ったり、いろいろと事前学習をしたりしていました。たたら製鉄のときは、ぼくは、時間を計る係でした。そして、いよいよ鉄作りがスタートしました。ぼくは、20周年ということと思い、失敗ないように心がけました。とても火が熱かったです。小屋の外に出て休憩する時に、来てくれた人たちとの交流ができてよかったです。そして、鉄がきれいにできました。うまくできてうれしかったです。

学習発表会でも、たたら製鉄を劇にして演じました。まちの人たちにも伝えることができうれしかったです。

貴重な体験をさせていただき感謝しています。

(6年 千葉 快陽)

### たたら製鉄を終えて

ぼくは、たたら製鉄を終えて感じたことが2つあります。

1つ目は、砂鉄採りから、たたら製鉄に至るまでがとても大変だということです。理由は、最初に砂鉄採り、次に炉作り、そして最後にたたら製鉄をするからです。

昔と違って、今は機械で大量生産できるけど、昔は苦勞して作っていたんだなあと初めて知りました。

2つ目はやりがいです。理由は、砂鉄取りから製鉄まで大変だけれど、鉄ができたときの喜びは機械で作ったときの数十倍あると思うからです。

大人になったら、やりがいのある仕事につきたいです。

(6年 菅原 球磨)

